

はるか わたり歴史通信「悠」

わたりちょうりつきょうどしりょうかん
巨理町立郷土資料館

巨理が誇る詩人 菅原克己

6月1日(土)から30日(日)まで、企画展示室で巨理町立図書館・郷土資料館開館30周年記念合同企画「巨理町出身 詩人 菅原克己を知る・読む・聴く」を開催しました。巨理町出身であり、日本を代表する抒情詩人として活躍した菅原克己(1911-1988)の軌跡を周知するため、図書館所蔵の自筆原稿を中心に展示を行いました。

菅原は明治44年(1911)巨理町字館南で生まれました。3歳で仙台市に移住し、その後13歳で上京するまで宮城県ですごしました。上京後に室生犀星の詩と出会い、詩人である姉の影響も受けて詩を作り始めました。感受性豊かな分かりやすい言葉で表現される菅原の詩は、読者の心に深い共感を与えました。没後、菅原の命日は詩の一つ「げんげ*の花について」にちなみ「げんげ忌」と名付けられ、現在も菅原とその詩を敬愛する人々が集まり、故人を偲ぶと共に交流を深めるイベントが開かれています。

この展示では、菅原や彼に影響を与えた人物を「知る」、様々な菅原の作品を「読む」、「ブラザー軒」などシンガーソングライターによって曲がつけられた菅原の詩を「聴く」、という3コーナーで菅原の詩の世界観を紹介しました。また、最後に設けた「菅原克己への伝言」では、来館者の思い思いの感想が書かれ、その中には「菅原克己の詩を読むと心の奥がふるふるとふるえてくる」「こんな素敵な方が巨理出身なんて誇らしいです」など詩に深い感銘を受けたコメントが見られました。



▲展示資料を眺める観覧者の様子

※「げんげ」は蓮華草のこと

暑い日は施設に避難しましょう！

夏本番、熱中症には十分な注意が必要です。熱中症特別警戒アラートが発表された場合、暑さをしのげる場所としてクーリングシェルター(指定暑熱避難施設)を利用することができます。熱中症による健康被害の発生を防ぐため、アラートが発表されたときは悠里館1階エントランスホールなど各施設をご利用ください。利用にあたっては、各施設のルールを守ってください。

※クーリングシェルターに指定されている町内施設については、町HPをご覧ください。

施設名称	所在地	開放日・開放時間	
悠里館	巨理町字西郷 140	休館日以外	
		1階 エントランスホール	9:00~19:00
		2階 図書館	10:00~19:00

次号の「わたり歴史通信『悠』」は、10月に発行する予定です。
郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口に置きますのでご覧ください。



伊達成実霊屋御開帳



伊達成実^{だてしげかね}は伊達政宗^{まさむね}の片腕^{かたうで}として活躍し、巨理領主^{きよりのりぬし}としても巨理発展^{きよりのり}の基礎^{きそ}を築くなど大きな功績^{こうせき}を挙げました。正保3年^{しょうほう}(1646)に成実^{なるみ}が79歳^なで亡くなってから間もなく、その功績^{こうせき}を称^{たた}えて霊屋^{たまや}が築かれ、その後内部^{うち}に甲冑姿^{かっちゆうすがた}の成実木像^{なるみのおき}が納められました。霊屋^{たまや}は江戸時代初期^{えど}を代表する霊屋建築^{たまや}として宮城県^{みやぎ}の指定文化財^{しよひんぶんわざい}になっています。

下記日時に霊屋を開帳し木像を一般公開します。年2回の貴重な機会^{きんぎゆう}ですので、ぜひ足をお運びください。

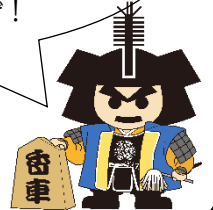
また、当日は伊達武将隊・伊達成実さんと郷土資料館学芸員による現地解説会を行います。今回は『成実記』について紹介する予定です。

◆日時 令和6年8月16日(金) 8:30~16:30

◆場所 巨理領主伊達氏歴代墓所(大雄寺境内)

解説会は2回行いますぞ
①11:00~ ②14:00~
申込は不要ですので、
ぜひご参加ください！
スタンプラリーもあるぞ！

郷土資料館
イメージキャラクター
しげかねくん



『成実記』を読んでみよう！(2)

『成実記』特集の第2回目は、天正16年^{てんしょう}(1588)の郡山合戦^{ごおりやま}から、天正17年^{すりあげはら}(1589)の摺上原の戦いまでの伊達家の動きについて紹介します。

※内容は『正宗記』(郷土資料館所蔵)を参考にしています。

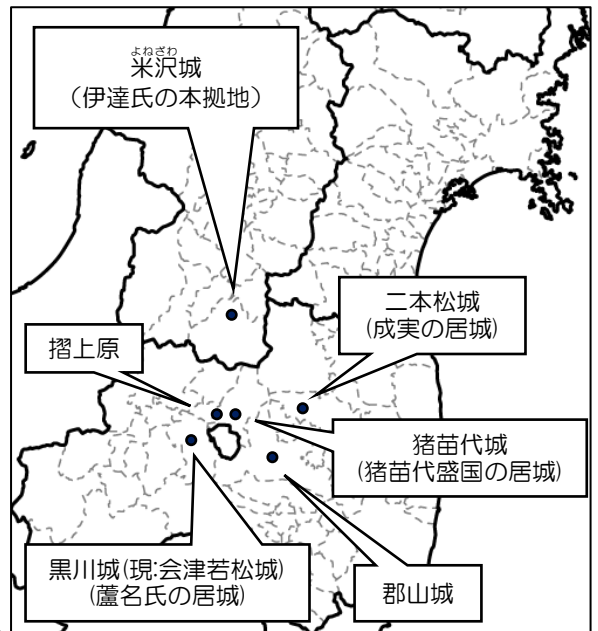
伊達家の勢力拡大

天正16年、伊達政宗^{おおさきし}が大崎氏^{ないらん}の内乱^{かんしやう}に干渉しようとして敗走(大崎合戦)すると、この事態を好機ととらえた蘆名氏^{あしな}(会津)・相馬氏^{そうまし}(相馬)が南方から伊達領に攻め入るようになりました。伊達領の南方を伊達成実^{かたくらかげつな}や片倉景綱^{かたくらかげつな}らが守る中、成実^{なるみ}は蘆名方^{あしな}の大内定綱^{おうちさだつな}に声をかけます。

定綱は伊達家に仕える約束を破り政宗に城を攻め落とされた過去があり、このときは蘆名氏に身を寄せていました。成実の説得により定綱は再び伊達方につき、攻め寄せた蘆名勢^{あしな}を退けました。また、家中が伊達派^い・相馬派^{そうまし}に分かれていた田村氏^{たむらし}の領地を手に入れるべく相馬義胤^{よしたね}が出陣しますが、伊達方の田村家臣^{たむらしかみ}に阻まれ撤退しました。その後、伊達家^いと佐竹^{さたけ}・蘆名連合軍^{あしな}の戦いが続きましたが、7月には和睦^{わぼく}が結ばれました(郡山合戦)。

この戦の後、政宗は妻の実家である田村氏の領地を確保し勢力拡大^{かくだい}に転じます。天正17年4月に蘆名氏に仕えていた片平親綱^{かたひらちかつな}(大内定綱の弟)が伊達家に味方すると、政宗は相馬氏の参戦^{さんせん}を阻止したうえで蘆名攻めを行います。蘆名家臣^{あしな}の猪苗代盛国^{いなるもりくに}が続けて味方になったことで、伊達軍は蘆名氏の居城黒川城^{くろがわじやう}まで迫ることが可能になりました。こうして6月5日、伊達軍と蘆名軍^{あしな}は磐梯山麓^{ばんたいさんろく}の摺上原^{せきとつ}で激突し、伊達軍が勝利しました(摺上原の戦い)。

摺上原での勝利により奥羽の覇者^{あおう}になった政宗ですが、この時期の合戦^{とよとみひでよし}は豊臣秀吉^{そうぶじれい}の「惣無事令(大名の私的な戦いを禁じるもの)」に違反^{いはん}していて、後に秀吉から厳しい処置^{しよち}を下されるのでした。



▲現在の山形県・宮城県・福島県における各地の城などの位置

伊達成実の活躍（2）

さて、『成実記』をとおして、天正16年(1588)から天正17年(1589)までの伊達家の動きを追いましたが、こちらではその間の伊達成実の様子に注目します。

敵を味方に変える成実

天正16年、蘆名氏・相馬氏が伊達領南方に攻め入ったとき、成実や景綱らが激しい攻撃を防いでいました。蘆名軍にはかつて伊達家に背いた大内定綱がいたため、この状況を好転させるには定綱の力が必要だと判断した成実は、政宗を説得し所領を与える条件で定綱と弟の片平親綱に伊達家の家臣になることを約束させました。翌年には蘆名方に所属していた親綱が伊達家に味方し、摺上原の戦いでの伊達家の勝利に繋がりました。

定綱・親綱兄弟以外では、成実も蘆名家臣の猪苗代盛国にも伊達家に味方するよう働きかけていました。猪苗代城主である盛国の寝返りは、蘆名氏にとっては喉元に刃を突き付けられたも同然であったため、急ぎ伊達軍と戦わざるを得ない状況に陥りました。

このように、成実も「敵方の武将を寝返らせる」という調略(はかりごとをめぐらすこと)にも優れた人物で、伊達家の勢力拡大に大きく貢献しました。

人物三紹介 【大内定綱(一五四一―一六一〇)】
最初は小浜城(二本松市)主。成実の説得に心して伊達家に仕えるようになってからは、伊達家の家臣として摺上原の戦いや文祿の役に参戦し、子孫は仙台藩士として存続した。

戦でも活躍！

「調略に優れている」という成実の一面を紹介しましたが、この時期の成実も戦においても活躍しています。郡山合戦では少ない兵で蘆名氏や相馬氏の攻撃を食い止めたほか、天正16年7月には郡山城・窪田城の城番を担当していた景綱と共に佐竹軍と激戦を繰り広げ(「敵の頭二百余打ち取り、味方も六、七十人打ち取られ候」)、二人の奮戦により持ちこたえることができました。

摺上原の戦いでは、成実も三番隊の大將を務めました。戦いが始まると、猪苗代盛国の一番隊、景綱の二番隊が合戦をしかけますが蘆名軍の強襲で崩れてしまいます。そこに成実の三番隊、白石宗実の四番隊が押し寄せ、蘆名軍を原の上まで追いつめました(「会津衆まくれ引き除き候て摺上の上迄追い付き候」)。摺上原での敗北により蘆名氏は滅亡し、伊達家は東北地方の最大勢力となりました。

三十三間堂官衙遺跡トピック vol2



今回は、史跡内に咲く草花についてご紹介します。

史跡内は、建物跡の礎石が多く残されていて驚かされますが、同じように草花の宝庫ともいえます。その種類は分かっているだけで50種類以上、季節によって、また環境の違いによって色とりどりの花を咲かせています。

たとえば、沢近くの湿気が多い所ではキバナノアマナやタチツボスミレ、木々のそばではシソバタツナミやマルバダケブキ、日当たりの良い丘ではオカトラノオやヒメオオギスイセンなどなど…

お気に入りの花を探しながら、史跡を歩いてみてはいかがでしょうか。



▲マルバダケブキ



▲オカトラノオ

7月～9月の郷土資料館イベント情報

🌻 7/13・14、8/10、9/14・15【わたり復興の歩み上映会】9:00～16:30

※8月11日(日)は休館日のため上映会は実施しません。ご了承ください。



🌻 7/20～8/21【夏休みちよこっと体験】

巨理伊達家の家紋などの切り絵やわたりんのぬり絵に挑戦するコーナーのほか、チャレンジクイズ(全問正解者には記念品をプレゼント)があります。また、巨理町内で採集した昆虫のミニ展示も実施します。昆虫観察や標本作成の参考にしてみたいはいかがでしょうか。

🌻 7/27【わたりっ子を育てる会「繭玉こけしに顔を描こう」】10:00～14:00

悠里館2階の図書館会議室にて繭玉こけしに顔を描くほか、郷土資料館学芸員から町の養蚕の歴史について学べます(参加自由)。※養蚕の歴史は①11:00～、②13:30～の2回です(各回15分程度)。

🌻 8/1～8/30【悠里館ギャラリー展示「悠里館に集う我が将一政宗・成実・小十郎」】

巨理駅と悠里館を結ぶ連絡通路にあるギャラリーにて、イラストレーターが描いた伊達政宗・伊達成実・片倉小十郎らのイラストや紙甲冑を展示します。伊達武将隊の作品もあります！

🌻 8/16【伊達成実霊屋御開帳スタンプラリー】9:00～16:30

霊屋と郷土資料館常設展示の2か所を見学して、スタンプを集めた方には記念品をプレゼントします。※当日のみ有効

🌻 8/24【ほどける馬っこプロジェクトin郷土資料館】10:00～12:00

簡単にほどけて防災用品に使われるテトロン(ポリエステル)糸という紐で馬を作ります。

※詳しくは町HP・LINE・広報でお知らせします

来館者報告

常設展

R6.4.2～6.30

●開館日数…76日間

●観覧者数…5,089人(1日平均67人)

第26回収蔵資料展

R5.4.2～5.12

●開館日数…35日間

●観覧者数…1,446人(1日平均42人)

図書館・郷土資料館合同企画「巨理町出身 詩人 菅原克己を知る・読む・聴く」

R6.6.1～6.30

●開館日数…26日間

●観覧者数…916人(1日平均36人)



おわりに

6月は「菅原克己展」「成実ウォークinわたり」「本とわたし」と、悠里館(図書館・郷土資料館)開館30周年記念の事業を行いました。これらの事業をとおして、悠里館に来てくださるみなさんに感謝の気持ちが伝わったのなら、とても嬉しいです。

夏休みシーズンも様々なイベントを行いますので、ぜひご利用ください！

巨理町立郷土資料館利用案内

〒989-2351 宮城県巨理郡巨理町字西郷140

Tel: 0223-34-8701 E-mail: kyoudo@town.watari.miyagi.jp

*開館時間 9:00～16:30(入館は16:00まで) *観覧料: 無料 ※特別展等有料の場合あり

